

日本パーソナリティ心理学会第24回大会
広報委員会企画シンポジウム

2015年8月22日 13:00～
15:00

北海道教育大学札幌校
304号室

心理学におけるマルチメソッド・ アプローチ

企画：日本パーソナリティ心理学会広報委員会

司会：大谷和大（大阪大学）

話題提供1：長谷川晃（東海学院大学）

話題提供2：鈴木雅之（昭和女子大学）

指定討論1：佐々木淳（大阪大学）

指定討論2：山田剛史（岡山大学）

企画趣旨

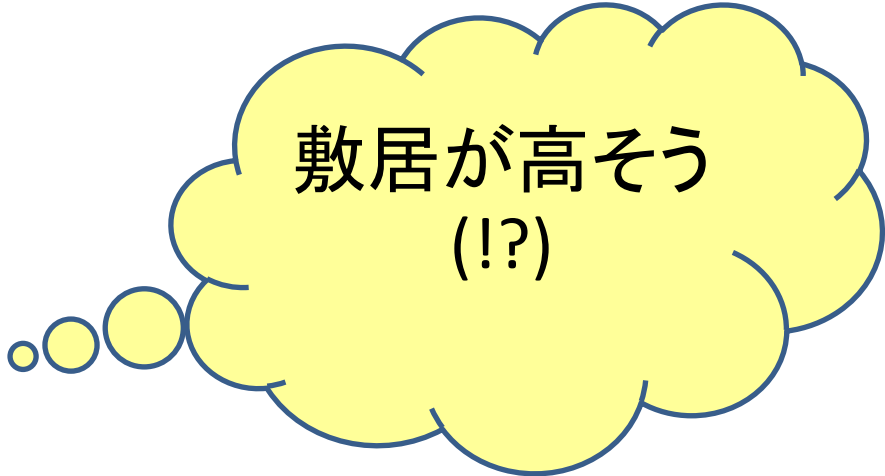
- 心理学分野において「心」を追究する方法は多様である(e.g., 実験、調査、観察)。
- 研究方法として全く問題のない方法は存在していない(吉田, 2006)。
- その目的や状況に応じて適切な方法を使い分けたり, 一つの研究テーマに対して複数の研究方法を用いたりする必要がある。

企画趣旨

- 本シンポジウムでは、マルチメソッド・アプローチを取り上げる。

⇒複数の研究方法を用いることで、当該の現象をより多面的に捉えることが可能

⇒ただし、コストの問題も
e.g., リソース、スキル



敷居が高そう
(!?)

- 具体的な研究例の紹介を通じ、マルチメソッドについてより身近に考えるきっかけとしたい。

進行予定

- 話題提供1 長谷川晃先生(30分)
臨床心理学におけるマルチメソッド・アプローチ
—反すう研究を例に挙げて—
- 話題提供2 鈴木雅之先生(30分)
教育心理学におけるマルチメソッド・アプローチ
—教育評価研究を例に—
- 指定討論:佐々木淳先生、山田剛史先生
(応答も含め50分)
- フロアからの質問等(10分)